

JOB REPORT

韓国の受水槽、高架水槽で活躍する水中ポンプ

韓国では、受水槽、高架水槽を6か月毎に清掃することを条例で定めている。特に、ソウル特別区は都市計画に基づき個人住宅をなくしたため、大都市の住民は高層マンションに住まざるを得ない。そのため、都心部には商業ビルよりも高いマンションが林立しており、場所によって水槽は出入りの難しいところに設置されている。水槽を清掃する時はドレンから水抜きをする。ドレンの多くは槽底から10センチ程度高いところに設けられているので、今までは、その残水を処理するために清掃業者が思い思いに一般の水中ポンプのストレーナを切り底吸込式に改造していた。それでも1センチ以上の残水があり、この残水処理に困っているのを見て、当社代理店がUSB-40Dの使用をPR。

当社の残水ポンプはエアロックすることなく、残水3ミリまで排水が可能。また、ポンプに当社のクイックカップラーを取り付けることによりポンプとホースを別々に搬送することが容易にできるようになり、今、韓国の水槽清掃業者に好評で、3K職場における時間短縮ができると喜ばれている。(韓国全土で大小合わせて約2,000の清掃業者が従事している)

使用ポンプ USB-40D

韓国代理店 常緑環境機器株式会社



ドレン排出後の高架水槽



ドレン排出後(残水10cm)から運転を始める



USB-40Dで排水完了(残水約3mm)